

# どうぶつこうえんニコース

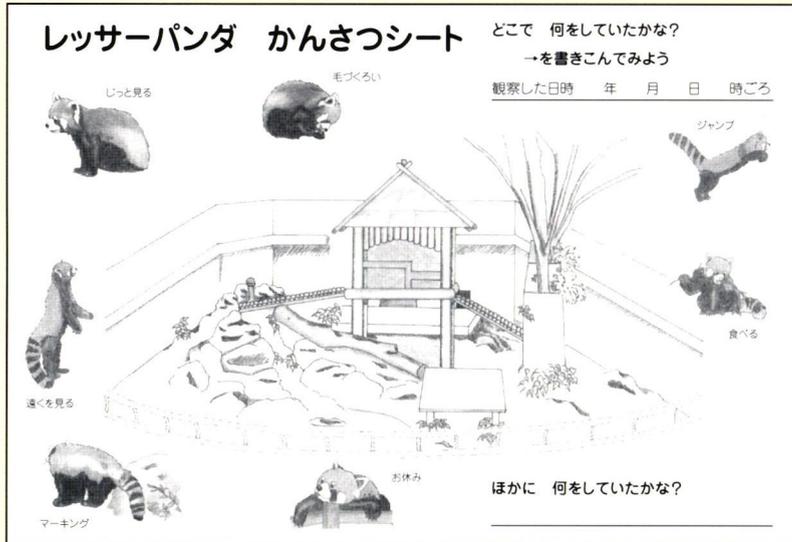


 **千葉市動物公園**  
Chiba Zoological Park

**No.59**  
2006  
**春**

# Topics

## トピックス 市民Zooネットワーク主催「エンリッチメント大賞」(来園者部門) 受賞について



も人もより楽しく過ごしていけるための工夫」というような意味です。

このシートは、動物公園協会が毎日行っている動物ガイドに伴い、来園者の方にお配りしたり、解説の時の資料として使っております。

このほど受賞した「観察シート」は、6年ほど前より当園飼育課が学校の教材として開発したあと、一般の来園者にも楽しく動物を観察していただけるよう、動物公園協会が幼児でも大人でも使うことができるよう、内容を改良したものです。しぐさのチェックシートやスケッチ、クイズなどを組み合わせています。動物をよく見るといっても、ただ「見ましょう」といってよく見えてくるものでもありません。そのため

のツールのひとつがこのシートです。

現在は「レッサーパンダ」「コツメカワウソ」「ハナグマ」「ニホンザル」「モンキーゾーン」「ゴリラ」「フラミンゴ」「アジアゾウ」「ペンギン」が、ご希望にあわせてお配りできるシートです。より多くの来園者の方に利用していただき、ご意見をいただきながら、もっともっと、動物たちを好きになってもらい、動物公園の思い出になるようなものを作っていきたいと思っています。

並木美砂子 (Misako Namiki)

このたび、千葉市動物公園および財団法人動物公園協会による「観察シート」がNPO「市民Zooネットワーク」の主催する「エンリッチメント大賞」の「来園者部門」で大賞をいただきました。

市民Zooネットワークは、動物園を愛する市民のみならずにより、動物園の動物たちの幸せと、動物園を楽しむ人々がより増えるようにと作られた非営利団体です。その活動のひとつが、毎年行われている「エンリッチメント大賞表彰」事業です。エンリッチメントとは「動物

## 目次

### CONTENTS

表紙【タンチョウ】	①
トピックス【エンリッチメント大賞 (来園者部門) 受賞について】	②
特集 子ども動物園より(4)	③
特集【モモタロウ「行動観察日記-1」】	④~⑤
健康管理センターから	
【ウマの体温高いか、低いか?】	⑥
動物公園の動物【ゴリラ】	⑥
動物公園日誌から	
【05.10/1~05.12/25】	⑦
裏表紙【ポト】	⑧
Information	⑧

## 表紙の動物説明 タンチョウ

世界のツルの仲間、タンチョウはもっとも優美な鳥といえるでしょう。明治維新以前には、繁殖地が今より広がったのは確か、日本の主要四島すべてで繁殖していたようですが、狩猟や生息地の喪失により、1890年代以降は北海道にしかいません。日本で繁殖する唯一のツルで北海道東部の湿原に生息、冬の給餌など地元の手厚い保護で、最近では約700羽に増え、分布も広がっています。一方、日本の動物園等の施設では250羽羽が飼育されていますが、ほとんどが大陸産のものです。雑食性で穀類や、魚、虫、ネズミなどを食べます。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

撮影：宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)

## 動物飼育数

Classified number of animals  
as of 31. Jan. 2006

哺乳類	67種	420点	両生類	0種	0点
鳥類	74種	280点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	30点	総計	147種	730点

平成18年1月末現在の飼育数



特集



# 子ども動物園より(4)



## コンタクトコーナーの紹介

ちい  
小さなハツカネズミ・テンジクネズミを  
だ  
抱っこしたり、ウサギにさわることができ、  
いっばん らいえんしゃ  
だんたいよう  
一般来園者スペースと団体用スペースのある  
コーナーです。



●電話等で予約が必要



- 団体申し込みカードの記入
- 団体責任者や引率者との  
打ち合わせ
- 当日使用する動物の紹介・  
触れ合いの仕方
- 教材の貸し出し

### 一般来園用 スペース

予約の必要ありません。  
午前 10:30～12:00  
午後 1:00～ 2:00  
午後 2:30～ 3:30  
お休み  
午後 12:00～ 1:00  
午後 2:00～ 2:30

### 団体用 スペース

火・水・木・金曜日  
午前 10:30～12:00  
午後 1:00～ 2:00  
当日が祭日の場合は団体指導はありません。又、「ヤギとヒツジの  
広場」とステージを使つての団体指導も行っています。

### 団体とは

保育園(所)・幼稚園・  
小学校1～2年生・障  
害児の団体・その他  
の幼児・児童の団体。  
※団体指導には事前  
指導が必要です。



詳細につきましては、ご来園又は電話でご確認を…  
043-252-1111(代) 子ども動物園まで



# モモタロウ



モモタロウ

上野動物園で2000年7月3日に生まれたモモタロウが、本園に移動して早や4年になろうとしています。本誌のNo.40（2001年）に上野の「今西」さんが、「モモコ親子の1年を振り返って」という一文を寄稿されておられ、誕生の様子、放飼場での一人遊び等について書かれていました。

今度はモモタロウを中心とする「行動観察」についてまとめてみようと思います。ご

承知のように動物の「行動観察」については、欧米での研究が古いので書物（訳文も）もたくさんありますが、サル特に「ゴリラ」については限られていますし、中でも「母子のみの飼育ゴリラ」に関しては「モモコ親子」のみだったので、貴重な存在でした。この事実を知り得たのは、我国でのゴリラの研究では第一人者の山極さん（正式には山極京大大学院教授ですが、京大では師弟の間は「さん」つけて呼ぶのが習慣）のお陰なのです。

1996年上野動物園で「ゴリラとトラの森」がオープン、日本での初めての「群れ飼育」の開場記念に「ゴリラ」のセミナーがあり、山極さんと生息地アフリカのバサボセさんが来演され、その夜のパーティで「行動観察」の大切さを学び、早速予備観察を開始、やがて本観察へとつながったからなのです。

2000年フリーディングローンで千葉市動物公園から来ていたモモコにモモタロウが生まれたのを機会に山極さんの指導（飼育ゴリラの分野で著名な阪大大学院の中道助教授にもお世話になっている）のもと、モモコ母子本観察開始のため2週間の「飼育実習」を終えて、2001年1月から「上野動物園飼育課実習生」として登録、本格的な行動観察を開始したのです。

モモコ母子が放飼場に出たのは、2000年10月1日からですが、寒さに向かう時期でもあったので中断しました。本格的に再開されたのは、2001年3月24日からでした。

しかし、放飼場に出たモモタロウは、モモコに抱きついたままで離れずという状態が何十

# 行動観察日記-1



日も続き、やっと「一人遊び」を観察できたのは、なんと5月17日だったのです。間もなく1歳の誕生日を迎えるのと思い、本当にやきもきしたのを覚えています。では、モモタロウの放飼場での1日の「行動観察」について見てみましょう。放飼から収納までにとった行動の分類は、①Locomotion：ロコモーション：移動、②Meal：ミール：食事、③Play：プレイ：遊び（〔③-1：Social Play：社会的遊び〕と〔③-2：Self Play：一人遊び〕）、④Rest：レスト：休み、の4種類に分類、その構成時間配分によって比較すると、年齢差による行動変化を読み取ることができるのです。ただ、この中に小さい頃に必要な母子特有の⑤Suck：サック：乳のみ、を中心とする⑥Contact-Time：コンタクトタイム：ふれあい、がありませんが、③-1に含めてもいいと思います。



モモコ（母親）

それでは実際の行動時間配分を見ましょう。まず2003年の2月14日（31月令）の場合、①：30%、②：13%、③：56%（③-1：4%、③-2：52%）という構成で、遊びの時間が半分以上を占めていることがわかります。それも一人遊びがほとんどです。遊びは子どもにとって最も大切な時間で、それも社会的遊びという仲間・父子との遊びを通して「ゴリラ社会」を学ぶことが不可欠なのですが、全くチャンスがありません。仲間・父子ともいないからです。では最近のデータと比べましょう。2005年10月13日（63月令）の場合、①20%、②30%、



モモタロウ

③45%、④5%という構成で、食事が大幅に増えていますが、年齢から順当だと思います。問題は遊びの内容で、一人遊びは仲間がいないので仕方がないとしても、遊びの種類がどんどん減ってきてしまっているのです。これは大きな問題なので、次回《No.61》に詳しくその内容分析をしてみたいと思います。

日本霊長類学会 京大院人類進化論研究室

千葉市動物公園飼育課実習生

猪尾武達



## 健康管理センターから

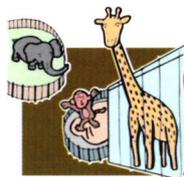
From the Animal Health Center

### ウマの体温 高いか、低いかな？



この号が出る頃は、もう暖かくなっているでしょうが、この冬は例年にない寒さでした。動物たちも昨年までの暖冬にすっかり慣れてしまったのか、寒さのために体調を崩すものが何頭か続いてしまいました。北海道原産のはずのドサンバもその1頭で、急に寒くなったある日、食欲がなく、おとなしくなって元気ないと担当から言われました。早速、肛門に体温計を入れて計ってみると、37.9℃です。少し低いのかな？体も触れると冷たく感じられました。これは寒くて体温が下がりすぎ？すぐに暖房のある部屋に入れ、毛布を背中にかけてたりして温めてやりました。その夕方の体温は38.9℃で少し上がったのかと、ホッとしました。食欲も出て元気になってきたようです。翌朝、さらに元気になっていましたが、体温は37.2℃、またその次の日は37.4℃でした。それ以降は元気すぎて嫌がって暴れ、検温も難しくなりました。無事回復したようですが念のため、教科書を見直してみても思わず冷や汗が。実はウマの平熱は37.2～38.2℃位で、具合の悪かった時は、逆に熱っぽかったということになります。どちらにせよ温めるのが一番でしたが、うろ覚えではなくちゃんと確認しなければと反省しました。ちなみにウシやヤギ・ヒツジの平熱はもっと高く、38～40℃位にまでなります。ヤギならば低体温だったのですが……。

辻村 直美 (Naomi Tsujimura)



## 動物公園ニュース

(動物公園の動物)

### ゴリラ

動物公園には現在4頭のゴリラがいます。ゴリラは、チンパンジーと共に遺伝子学的にヒトに最も近く、ヒトに次いで知能の高い陸上動物です。

ゴリラの英語名「gorilla」の語源は、ギリシャ語で「アフリカの毛深い女部族」を意味する「gorillai」に由来します。3種(ニシローランドゴリラ、ヒガシローランドゴリラ、マウンテンゴリラ)の中でも、飼育されているゴリラのほとんどがニシローランドゴリラで、本来、アフリカ西部のガボンや中央アフリカなどに生息し、その数は4万頭と推測されています。

オスゴリラは8～10歳で性成熟しますが、背中の中の毛がシルバーグレー色になることから「シルバーバック」と呼ばれ、群れのリーダーとなります。群れの大きさは、およそ5～10頭程度で、オス1頭の他、血縁のないメスが3～4頭、子供が5～6頭で構成されます。

野生のゴリラは、1日に約13時間も眠り、残りの時間を採食行動にあてます。主に、草、木の葉、茎、果実などを食べます。動物園でも、草や木の葉、果実などを与えていますが、個々によって好き嫌いがあるようです。

ゴリラは体重を支えるため、指の背を地面につけて歩きます(ナックルウォーク)が、子供のモモタロウは時々ガニ股の2足歩行し、周りを楽しませてくれます。最近のゴリラたちのお気に入りには“大きな麻袋”で、この冬は特に寒いこともあって、小さめの麻袋を縫い合わせて大きくしたところ、それを破ったり、布団代わりにしたりして、愛用しています。

水上 恭男 (Yasuo Mizukami)





# 動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

## '05年10月1日～'05年12月25日

- 10月1日 ミーアキャット (雄)、検疫明け
- 10月2日 アフリカヘラサギ、産卵  
写真教室開催
- 10月3日 グレビーシマウマ、交尾  
レッサーパンダ (雄)、体重測定 6.3kg
- 10月7日 幕張総合高校、校外学習
- 10月10日 マンドリル、発情始まる



- 10月12日 シロガオマーモセット (2頭)、繁殖  
マンドリル、交尾
- 10月13日 カピバラ (3頭)、ニホンザル (1頭)、搬出  
アジアスイギュウ (雄)、新着
- 10月14日 シロガオマーモセット (2頭)、繁殖  
ショウガラゴ、繁殖  
シロガオマーモセット (3頭)、マイクロチップ埋め込み
- 10月16日 ワンポイントウォッチング (プレーリードッグ)
- 10月18日 緑町小学校、校外学習
- 10月22日 エリマキキツネザル (雌)、尾の先より出血のため入院
- 10月23日 ゆかいな森の音楽会開催
- 10月28日 パラワンコクジャク (雌2)、上野動物園より新着
- 10月29日 Zooクイズラリー開催
- 10月30日 連続講座 ③開催
- 11月3日 フンボルトペンギン、産卵 (卵重: 120g)
- 11月4日 ワオキツネザル (雌)、池に落ちる  
フクロテナガザルに他園の個体の声を聞かせる
- 11月7日 コサンケイ (雄)、天王寺動物園に搬出  
ワオキツネザル (2頭)、マイクロチップ埋め込み
- 11月10日 フンボルトペンギン、産卵  
カピバラ、交尾
- 11月11日 パラワンコクジャク (雌2)、検疫明けでバードホールへ移動
- 11月13日 ワンポイントウォッチング (シタツンガ)
- 11月14日 エリマキキツネザル (雌)、退院  
ムフロン (2頭)、耳標装着
- 11月15日 イヌワシ (雄)、搬出  
ハゴロモツル (雄)、搬入
- 11月16日 キングペンギン (3羽)、冷房室より放飼場へ移動
- 11月17日 動物病院隔離室、殺虫剤くん蒸
- 11月18日 アカコンゴウインコ (雄)、死亡
- 11月21日 ムフロン (雄)、首に接触した角を10cm切る
- 11月23日 ケープペンギン (2羽)、識別リング交換  
連続講座 ④開催

11月27日 ゴリラトーク開催



- 11月28日 キンカジュウ、繁殖  
フタユビナマケモノ (雌)、バードホールで展示
- 11月29日 ハゴロモツル、検疫明け



- 12月1日 ワオキツネザル (2頭)、繁殖  
アメリカビーバー (雄)、死亡
- 12月3日 カオムラサキラングール、繁殖
- 12月4日 昨日生まれたカオムラサキラングール、死亡  
連続講座 ⑤開催
- 12月5日 キジ類、ヤケイ、猛禽類、ニューカッスル予防接種
- 12月7日 シロガオマーモセット (2頭)、繁殖  
オオカンガルー (雌)、新着
- 12月10日 Zooキッズデー開催
- 12月11日 ワンポイントウォッチング (ヤギ・ヒツジ)
- 12月13日 市原ぞうの国の獣医師15日まで実習
- 12月15日 クロザル (雄)、円山動物園へ搬出
- 12月18日 シタツンガ、繁殖  
クリスマスシアター開催
- 12月21日 ケープペンギン、産卵
- 12月25日 オオカンガルー (雌)、検疫明け  
モモコ、モモタロウ親子の放飼場に発泡スチロール製ブロックを入れるが、一度投げただけでその後無関心  
浅野 洋之 (Hiroyuki Asano)

## 編集後記

毎日、大変寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。当動物公園も一段と寒い日が続いています。来園者も少なく、ちょっと寂しい毎日を送っています。動物も皆大変元気で、皆様のお越しをお待ちしています。このニュースが発行される頃(3月1日)は、桜のつぼみも大きくなり、もうすぐきれいな花が咲くでしょう。大勢の来園者がみえる春はすぐそこまで来ています。スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしています。どうぞ、ご家族一同揃ってお越し下さい。次回発行予定は平成18年6月1日です。  
名和 全孝 (Zenkou Nawa)



ポ ト



## Information

### 平成18年3月・4月・5月の 催し物一覧

- ★ 3月21日㊄ Zooクイズラリー
- ★ 3月25日㊄ ひがき順子「語りの会」
- ★ 3月26日㊄ 紙芝居会（園内4カ所）
- ★ 4月16日㊄ ワンポイントウォッチング
- ★ 5月7日㊄ バードウィーク講演会

どうぶつこうえんニュース第59号  
平成18年3月1日発行

編集  
発行

千葉市動物公園・財千葉市動物公園協会〔総合案内〕 ☎ 043-252-1111  
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-City Japan.  
<http://www.city.chiba.jp/zoo/>